

## 第1回 鹿部町総合計画策定審議会議事録

開催日時 令和4年4月26日(火) 13時30分～15時15分  
開催場所 鹿部町役場2階 会議室  
出席委員 14名(吉康郎会長、松本善一副会長、千葉光義委員、高橋茂夫委員、中村綾乃委員、平井悦子委員、金子ふさえ委員、吉英樹委員、佐々木博史委員、矢野和成委員、松本広美委員、石割恒彦委員、内山勝之委員、内田隆委員)  
欠席委員 6名(松川正委員、松本大樹委員、若山唯敏委員、能戸仁士委員、山田大春委員、原田光雄委員)

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長挨拶
- 4 委員紹介
- 5 会長、副会長の互選
- 6 鹿部町総合計画策定の諮問
- 7 議事

(資料1 第6次総合計画策定について事務局より説明)

委員

資料1-1の3ページ、※3ワーキンググループ「職員(課毎)の職員で構成し」とは、どういう意味か。

事務局

「職員の職員」と書いてありますが、各課から職員を出してもらうという意味です。

委員

「各課の職員で構成し」という意味でとらえればよいのでしょうか。

事務局

はい。各課に係長がいますので、その係長に集ってもらい、ワーキンググループという組織にしたいということです。

委員

括弧の位置がずれているのでないか。「職員(課毎)の職員で構成し」は、「職員(課毎の職員)で構成し」ではないですか。

事務局

はい。「職員（課毎）の職員で構成し」を「職員（課毎の職員）で構成し」のとおり、括弧の位置の修正をお願いいたします。

委員

部会を2つに分けるのではなく1つということですが、今回は6月にやることになると思うのですが、この時は一堂に議案で話すのか、例えば、そのうちに1時間を経済系で、残り1時間を民生系に分けて議論をされていくのですか。

事務局

分けてではなく、一括で行います。

委員

わかりました。会も分けないということですね。

事務局

はい。

（資料2 現在の進捗状況について事務局より説明）

委員

第5次総合計画の検証の結果は、3月18日に終わっていることですが、我々が見たり読んだり、もしくはホームページに載っているのですか。我々、第6回の責任ある立場で来ている以上、よいものを出したいと思っているのですが、前回の反省や良かった点などあれば、よりよい審議になりえると思うのですがいかがでしょうか。

事務局

第5次総合計画の検証結果については、次回の審議会の方に資料として提出させていただきたいと思っています。その中では第6次総合計画基本構想のたたき台も併せて一括で、審議会の方に資料を確認していただくことになります。

（資料3、4、5 町民アンケート結果について事務局より説明）

委員

資料3の20ページのグラフですが、左上が、満足度が低くて重要度が高いということですが、これはそれぞれ町の30数億円ある予算の内どのくらい使われているのかという、クロス集計はされる予定はあるのでしょうか。例えば、医療関係を改善したいと思うのであれば、医療環境にいくら使えますよと、今まではいくら使っているけれども、この金額だと不足しているから不満があるかもしれない。何%増

やすかと考えられる。逆にいえば、他の事業ではすでに非常に大きな金額を使ってこられている、なのに不満が非常に高い。それに5%増やしても中々結果は出ないですね。逆に、例えば企業の誘致だとは商業の振興だとか、それに対して同じ金額を使わせたら満足度がアップするかもしれない。町は予算でということは理解していますので、予算と関連付けると具体的なデータというか、アクションに繋がるのかなと思っております。

#### 事務局

ただ今のご指摘というのは参考になります。実は、今の現行計画については、その部分の分析は行っていませんでした。6次計画を策定する段階で今、5次計画の検証をしておりますので、アンケート結果の結びつきの部分での財源の振り分けの割合だとかを検証して6次計画の方で、出来るような資料を検討したいと思います。ありがとうございます。

(資料6 人口推計について事務局より説明)

#### 委員

今の人口推計で、比較対象で森町だとか七飯町とか近隣が出ているのですが、近隣だと函館空港とか新幹線だとか町の条件が似ている。海もあるし漁港が中心でとか。なので、なにかこの町が改革して伸びてこうとしているとか、もしくは、人口減少を止めようとしたときに、隣同士の減っている所と比較してもしょうがないと思います。だから、道内で2番目に多い町は東川町で、とても有名で、ちょっと考えると、「旭川空港が近いから」と短絡的に答えるのですが、それは間違いで、なぜかという、旭川空港は60年前に出来ていて1955年、今見ると1955年から1993年までの30年間で東川町の人口は60%減っている。でも、そこから、政策をすることによって、この10年で20%の人口が増えている。単純に空港が近いからという理由ではないです。色んなことをやっているから、あそこまで沢山人が集まってくる。でもそういうベストプラクティスなものをこの資料に載せないと、僕らと同じく隣も落ちているからいいね。函館なんて小樽に次いで2番目に人口が減っている、割合が減っているところですよ。そこと比較してもしょうがないのですよ。なので、是非、ベストプラクティスを我々の目標にしたり、北海道内の町をターゲットにして、そこが何をやっているのか、そこをベンチマークにして、そこがやっていることの中で、先ほどの資料の3の20ページ、私が先ほど言いました、予算との関係で、鹿部だったら、この予算に何%割り振ると、何%のアップが見込まれますよというふうに、転換していくと、戦略的な政策が前に進んで結果として町民の皆様に見えるのではないかと考えています。

#### 事務局

東川町ということで、例えていただきましたが、東川町については、確かに旭川に近い、うちのこの町でいえば、北斗市さんと同じで函館市のすぐ隣でベットタウン、函館市内ではなくて、すぐ隣で仕事にも通いやすいと、ただ、学校だと子供さんにかかる制度が北斗市の方が良くて、そちらの方では医療費の免除だとかがありまして、そちらの方に人口が流れていまして、北斗市では人口減少がほとんどない部分になっておりまして、それといえ東川町も似たような形で旭川のベットタウンで地価が安いだとかという要素があるのか委員が指摘しているとおりで、人が住みたい、移住したいというような何ら

かの様々な取り組みをしているところだと思っていますので、当然私たちも道内の先進地のような人口が増えている町だとか情報を色々実は調べていまして、当然、次の計画を作る時に参考にしていきたいと思っております。

委員

是非、2ページだとか北斗市がのっているといいですね。

事務局

そうですね。

委員

21ページ、将来人口のところですが、このグラフを見ていると、2010年から10年後の2020年までの間に、約1000人減っています。そこから10年後の2030年は約900人、2030年から2040年までも約900人ということは、人口減少の割合が今までよりか緩やかになっていくという推計をしていると理解してよろしいでしょうか。

事務局

ただ今のご質問ですが、ちょっと今手元に算出した結果を持ち合わせておりませんので数字でお示しできませんが、今のご指摘は、恐らく実数は減り具合が少なくなっているのではないかと、というご指摘ではないかと思いますが、母数に対しまして減少率に名をしますと、恐らく減少率は高まっている結果になっているかと推測されます。今、委員がご指摘されましたのは、10年おきに減少している数が少なくなっているというご指摘だったかと思いますが、それは、減少の率で算出すれば、母数自体が5000、4000、3000と減少していますので、減少率で換算し直ししますと恐らく大きく減少率の幅が増えているのではないかと、今具体的な数値がお手元にありませんので明確にお答え出来ませんが、恐らくその影響ではないかと考えられます。

委員

係数の出し方が、分母が小さくなって行くことから相対的に、こういう数字になって行くということですか。

事務局

はい。

事務局

もう一度よろしいでしょうか。今の点ですけれども、今、率のお話をさせていただきましたけれども、このグラフをご覧くださいますと、ほぼほぼ直線で、一定の直線で減少しているようにお見受けされるのではないかと思います。そうすると、傾き同じということは、率はほぼほぼ同じ可能性がありますが、母数自体が減っているために減少数も少なくなっているということが推測されます。

(資料7 今後のスケジュールについて事務局より説明)

委員

この計画自体ですが、5年に1回の見直しをするというお話をされておりますが、これはどういう方法で見直しをするのか、あるいは第5次の計画(案)について5年たった時点での中間での見直しと言うのはされたのかどうか、ちょっとその辺をお聞きしたい。

事務局

まずは、現行の計画の中間での見直しについて、実は当初の計画では中間年で検証して見直しするという計画をしておりました。実際上、見直しは、現行計画ではしておりません。原因は、ちょうど国の方で、まち・ひと・しごと総合戦略ということで、人口減対策の計画の策定を全国の市町村に策定するようでありまして、実はその計画を策定しております。ちょうどその時期が、この総合計画の中間とぶつかった関係で、そちらの方を優先して、総合計画の部分は見直さなかったということで、大変、事務局としては反省しておりまして、次期6次計画ではしっかりとやっていきたいと思っております。現行の計画については、今10年分を一回に検証して審議会の皆様に結果をお知らせしたいと思っております。

委員

わかりました。ただ、5年後どういう方法で見直しをされようとしているのか、考えられているのか、このように皆に集まっていただいて数字を出していただいたやつで見直しされるのか、あるいは役場の方だけでやられるのか、その辺の考えは無いでしょうか。

事務局

事務局はできれば5年おきにしっかり検証したいということで、このような審議委員会を立ち上げてやればよいと思っておりますが、これについては今後、基本構想、基本計画を策定していく中で審議会の皆様を始め、役場の方の策定員会との中でこの見直しの部分のやり方の手法についても方針を決めたいと思っております。

委員

最後に、事務局をお願いしたいのですが。アンケートをいくつか中学生、一般町民と取っているのですが、この集約の数値が非常に低いです。これでは、統計資料として作成する時に、統計学上は問題があります。統計学上1000というものがやはり頭に置いておかないといけない。統計学上は。アンケートは傾向把握ですから、それはそれでいいのですが、あまりにも回答の回答率の数字が低いと、どうも化学的に、これでいいのかなと、これで町民の傾向を把握できるのかなと感じがしますので、出来るだけ、中学生の酷いです、これ29%、3割ですからね。やっぱり教育委員会に校長がくっついて数字のアップに少し力を入れてもらって、町民の場合も31.5%だから、傾向を把握するのに信憑性・信頼性という数字が得られるのかなという感じがします。それで、どういう方法がいいのか私はなんともわかりませんが、とにかく数値を上げる努力をして下さい。よろしく申し上げます。

## 事務局

議案が終わりましてありがとうございます。大変お疲れさまでした。今ありましたアンケートの回収の数字が低い部分で、これについては私も残念に思っております。特に、中学生の部分がかかなり想定外でした。前回の計画の時には、ペーパーで学校に教育委員会をとおして学校側に、半ばちょっと強制的にといか強く調査依頼して結構回答が集まりましたが、今回、そのGIGAスクールということでタブレットを使ってデジタルで回答してもらおうということで、学生に自由にやらせたということで、先生たちの指導が強くいきわたらない部分でお子さんたちが回答した。これがお子さんたちの気持ちなのかなと、あまり答えたくないという表れなのかなという部分で若干寂しい気持ちをしております。それで、今お子さんたちが町のこうしてほしいということについては、今この計画を策定していく中で、何らかの方法で、子どもさんから提案してもらおうようなことをこの半年くらい考えて、アンケートについては、もう一回やるということにはならないので、これからまちづくりに、こういうのをしたいって子どもたちの声を入れればよいと考えています。そういうことで理解していただきたいと思っております。

あと、先ほどスケジュールについて説明させていただきましたが、次回については、6月頃に開催したい。それまでにしっかりと、その段階までの資料をまとめさせていただきたいと、そして、内容については、現行の検証の結果と次期計画の構成等のたたき台まで、そこまでを皆さんに議題として諮っていただきたいと思っております。

資料についても、審議会が円滑に進むように、なるべく1週間前には皆様のところへ配付して、目を通させていただいた中でこの審議会に出席してもらおうことで思っております。

あと、今この場で聞きたいところは時間。6月に開催する時間ですけれども、今日は1時半からということで昼過ぎに開催しましたが、ご覧のとおり先ほど説明しましたが、6名ほど欠席しているので、時間帯について皆さん何か希望、夕方の方がよいとか、午前中の方がよいとかあれば参考に6月のタイムスケジュールを作りたいと思っておりますがどうでしょうか。

## 委員

今1週間前くらいまでに資料をお送りしたいとお話がありました。ということは1週間前までに、いつ開催するという予定が上がってくると考えたのですけれども。昼間にやるのであれば、1カ月くらい前までにいっていただかないと、私なんかは仕事をしているわけではないのですが、予定というのは色々持っていますから、1カ月前までには欲しいし、今おっしゃったように夕方であれば、これはかなり時間が空いてくる時間なので、夕方であれば私は、いつでもいいとは言いませんけれども相応の期間さえあればありがたいと思っております。

## 事務局

夕方であれば割といいのではないかという意見と、日中の時間でやる場合については、1カ月前までに何日にやりますと出して資料については1週間前に届くという形で進めて調整したいと思っておりますがどうでしょうか。

## 委員

夕方でも1カ月前にいただきたいです。

事務局

わかりました。

委員

夕方だとか家庭だとか子供とか、あとはご夫婦食事だとかいろいろ事情が、今言えない事情などもあると思うので、そこは考慮していただいた方がありがたいと思います。

事務局

わかりました。ではせっかくなのでこの機会に、夕方の都合が悪い方いますか。

いないようですね。では、ほぼ夕方で調整して1カ月前までには日程を先にお知らせして調整したいというふうに考えておきます。それでは次回、ご案内させていただきますので是非よろしくお願いします。今日は誠にありがとうございました。

8 閉会